

## 【参考】評価の分析手法の主な例

分析手法	概要
事前・事後比較 (Before-After)	事業実施前・後の指標値を比較し、差を見ることで、事業実施の効果について検証を行う。
時系列 (Interrupted Time-Series)	事業実施前の長期トレンドを観測し、実施後のトレンドの変化を見ることで、事業実施の効果について検証を行う。
クロスセクション (Cross Section)	一時点で地域や個人間の、事業実施状況とアウトカムとの相関関係を見ることにより、事業実施の効果について検証を行う。
一般指標 (Generic Control)	事業対象グループの平均値と全国平均値、全県平均値などの一般指標値を比較し、差を見ることで、事業の効果について検証を行う。国内、同一県内における外部要因による影響値をある程度除去して考えることができる。
マッチング (Matched Control)	事業の実施対象グループを決定した後で、可能な限り実施グループに近いグループ（年齢、性別等）を選定して比較し、差を見ることで、事業の効果について検証を行う。
<b>実験的手法 (Experimental Control)</b>	<b>事業の実施前に、事業の実施対象となりうるグループに対して、無作為割付により実施するグループと実施しないグループに分け、それを比較し、差を見ることで、事業の効果について検証を行う。</b>

(出所)「評価論理」(佐々木亮)、「政策評価の理論と技法」(佐々木亮)をもとに作成。